

明治大学共創教育<リサーチ・ダイアログ>

「学習による変容を可視化し、教育の新しい『型』を考える
～リベラルアーツとしての市民性の創造～」 Ver. 2.1

【11月4日13時 明治大学リバティホール】

URL: <http://service-innovating.jp/activity> (こちらは随時最新版に追加・修正していきます)

主催: 明治大学情報基盤本部

企画: 明治大学共創教育ネットワーク

共催:

日本ESD学会、情報コミュニケーション学会、NPO法人 学習分析学会、アカデミック・コーチング学会、日本ビジネスコミュニケーション学会、芸術思考学会、ドラッカー学会、日本英語教育学会、次世代大学教育研究会、明治大学サービス創新研究所、早稲田大学情報教育研究所

後援:

明治大学情報基盤本部、(一社)日本オープンオンライン教育推進協議会

協力:

明治大学情報メディア部、デジタル・ナレッジ教育テクノロジー研究所、内田洋行教育総合研究所、学研教育総合研究所、AFP World Academic Archive、Asuka Academy、(株)コードタクト

【趣旨】

日本の高等教育でアクティブラーニングやeラーニングがなかなか広がりを見せないのはなぜでしょうか？

これらは教育方法論、すなわち手段ですから、教育の何に関心を向けるかによってその意味や価値は異なってきます。したがって、教育目的を揃えなければ、手段の有効性を議論することはできないのです。ところが、教育には分断の構造がいたるところに存在しています。たとえば、理系と文系、教養と専門の分断があります。これらは教育目的を狭小化することによってもたらされた分断です。この分断を解消するには、教育目的を統合する必要があります。

そこでわたしたちは、教育目的を「リベラルアーツとしての市民性の創造」としました。これは、理系と文系、教養と専門などの区分を超えた統合的な概念を与えるもので、各専門分野の固有の知識やスキルをどのように方向づけて意味づけしていくかを示すものです。

このようにリベラルアーツとしての市民性の創造を「目的」とすると、「目標」は私たちのリベラルアーツ講座を提示することと、市民性の創造へ向かうために学習者一人ひとりの行動をどのように導けばよいかを明示することになるでしょう。そこで、第1部では「学習による変容を可視化する」、第2部では「教育の新しい『型』を考える」と題して、これらをオープンに「対話」する機会を作りました。

教育に関心のある方々の幅広い参加による「対話」を期待しております。

●参加対象者:

大学教職員、教育関係者

●開催日時:

2019年11月4日(月) 13:00-18:00

●会場

明治大学(駿河台キャンパス)リバティホール(リバティタワー1階正面奥)

https://www.meiji.ac.jp/koho/campus_guide/suruga/access.html

★裏にプログラムあります★

●プログラム

【第1部】学習による変容を可視化する

13:00-13:05 (05') 開会挨拶「明治大学共創教育ネットワークのビジョンと展開」

阪井和男(明治大学)

13:05-13:25 (20') 基調講演「教育インパクトによる意識的・非意識的変容の可視化」

阪井和男(明治大学)

13:25-13:30 (05') <シェア&QA>

13:25-14:05 (40') 招待講演「様々なビッグデータが暴き出す教育効果と行動様式」

伊藤健二(明治学院大学 学長特別補佐(戦略担当) 産学連携プロデューサー)

14:05-14:10 (05') <シェア&QA>

14:10-14:45 (25') <フロア討論>

14:45-15:00 (15') <休憩>

【第2部】教育の新しい「型」を考える

15:00-15:10 (10') 「『対話』が導くアクティブラーニング:市民性を創造する『対話』の機能とモデル」

阪井和男(明治大学)

15:10-15:15 (05') <シェア&QA>

15:15-15:40 (25') 「学びの舞台装置を開放する:教材をフレキシブルに共有するコンテンツ・コンテナの発想」

渡邊純一((一社)ファーストスタープロジェクト)

15:40-15:45 (05') <シェア&QA>

15:45-16:10 (25') 「協調学習をベースとする新時代の Learning Management System 'schoolTakt」(仮)

後藤正樹((株)コードタクト・代表取締役)

16:10-16:15 (05') <シェア&QA>

16:15-16:25 (10') <休憩>

16:25-16:50 (25') 「キャリア教育と専門教育をつなぐ:教育による『持続可能な社会』の実現に向けて」

見上一幸(日本 ESD 学会理事/元宮城教育大学学長)

16:50-16:55 (05') <シェア&QA>

16:55-17:05 (10') 「アクティブラーニング事例紹介:十大学合同セミナー」

加来賢一((株)クリエイティブ・リンク AFP World Academic Archive ディレクタ)

17:05-17:10 (05') <シェア&QA>

17:10-17:50 (40') <フロア討論>

17:50-18:00 (10') 閉会挨拶

鎌田弘之(明治大学副学長・明治大学情報基盤本部長)

●参加費：無料

●申込方法:直接会場へお越しください。

●問い合わせ先:阪井和男@明治大学 sakai@meiji.ac.jp

※お知らせ※ 11月23日(土)の朝から、恒例となりました明治大学アカデミックフェス2019が丸一中開催されます。このなかで、明治大学共創教育ネットワークのセッションが13:00-14:30の間、ROOM-A(アカデミーコモン2階会議室フロアA3会議室)にて予定されています。どなたでも参加できますので、こちらにもお出かけいただければ幸いです。

https://www.meiji.ac.jp/gakucho/mauf2019/program/sub_win/ac2f_4.html

以上